



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 カネヨウ株式会社

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当

(氏名) 中村 陽介

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,917	△12.8	△38	—	△44	—	△45	—
27年3月期第1四半期	2,200	2.7	△5	—	△14	—	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.21	—
27年3月期第1四半期	△1.05	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年3月期第1四半期	4,756		1,074		22.6	76.60
27年3月期	5,073		1,074		21.2	76.54

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 1,074百万円 27年3月期 1,074百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	△4.3	10	△61.8	△19	—	△20	—	△1.42
通期	10,000	4.5	100	81.7	45	290.8	37	△10.2	2.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	14,066,208 株	27年3月期	14,066,208 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	34,189 株	27年3月期	34,121 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	14,032,019 株	27年3月期1Q	14,033,905 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が続き、物価上昇率の低下に伴う実質所得の下げ止まり、株高・原油安を背景とした消費者マインドの改善などから個人消費が持ち直していますが、そのペースは緩やかにとどまっております。また、米国の金融政策の動向や中国経済の成長鈍化などから景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社におきましては、前期に引続き、量より質への転換をはかり強固で持続可能な収益基盤を構築することを課題として取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高19億17百万円(前年同期比12.8%減)、営業利益は△38百万円(前年同期△5百万円、前年同期比32百万円の減少)、経常利益は△44百万円(前年同期△14百万円、同30百万円の減少)、四半期純利益△45百万円(前年同期△14百万円、同30百万円の減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①寝装用原料

天然原料は市況の低迷により荷動きが停滞し、苦戦を強いられました。

合繊原料は高機能原料が好調で、売上を伸ばすことが出来ました。

その結果、売上高は5億92百万円(前年同期比31.8%減)、営業利益は12百万円(同21.5%減)となりました。

## ②寝装製品

寝装製品は一部ガーゼケット等の健闘はみられましたが、全体的に春夏商品の販売は勢いがありませんでした。天候要因による立ち上がりの遅れと、物価上昇による消費者マインドの冷え込みの影響も少なくなかったと思われまます。

一方ホテル業界は活況を呈しており、枕の納入が継続しております。

その結果、売上高は3億27百万円(前年同期比15.3%減)、営業利益は4百万円(同39.5%減)となりました。

## ③リビング・インテリア用品

リビング・インテリア用品は、天候不順により春夏商品の販売が進まず、業界全体も荷動きが不調でした。

通信販売向けの売上が苦戦するとともに、インテリア問屋・小売店向け売上也苦戦しました。

その結果、売上高は2億76百万円(前年同期比14.8%減)、営業利益は△7百万円(前年同期は4百万円の利益)となりました。

## ④生地反物等繊維製品

ニット素材は製品の店頭での売れ行き不調の影響で売上が低迷し厳しい状況となりました。

ヨーロッパを中心とした織物輸出の取引は、円安、ユーロ高の影響もあり売上を伸ばすことが出来ました。

その結果売上高は3億57百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益は13百万円(同2.9%減)となりました。

## ⑤生活関連用品

資材関係では防草シート、保冷用原反は堅調に推移し売上が増加いたしました。

健康食品は需要の低迷で売上を伸ばすことが出来ませんでした。

その結果、売上高は3億60百万円(前年同期比20.5%増)、営業利益は9百万円(同11.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の50億73百万円に比し、3億16百万円減少し、47億56百万円となりました。減少の主因は、季節的な要因による商量の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少3億84百万円であります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の39億98百万円に比し、3億17百万円減少し、36億81百万円となりました。減少の主因は、売上債権と同様に季節要因による仕入債務の減少1億11百万円、短期及び長期借入金の返済による減少1億81百万円であります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の10億74百万円に比し、0百万円増加し、10億74百万円となりました。増加の主因は、四半期純利益△45百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の増加34百万円、繰延ヘッジ損益の増加11百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	566,091	526,396
受取手形及び売掛金	2,401,327	2,017,042
商品	1,057,101	1,086,666
その他	102,074	99,504
貸倒引当金	△11,772	△11,021
流動資産合計	4,114,823	3,718,588
固定資産		
有形固定資産	568,616	570,516
無形固定資産	4,173	4,032
投資その他の資産	385,410	463,299
固定資産合計	958,200	1,037,848
資産合計	5,073,024	4,756,436
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,751,661	1,640,037
短期借入金	1,614,988	1,468,322
未払法人税等	2,493	580
賞与引当金	7,100	4,350
その他	202,742	171,099
流動負債合計	3,578,985	3,284,389
固定負債		
長期借入金	184,959	150,172
その他	235,031	247,014
固定負債合計	419,990	397,186
負債合計	3,998,976	3,681,575
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
資本剰余金	138,353	138,353
利益剰余金	△195,955	△240,956
自己株式	△2,581	△2,607
株主資本合計	643,127	598,100
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,031	149,715
繰延ヘッジ損益	1,017	12,172
土地再評価差額金	314,872	314,872
評価・換算差額等合計	430,921	476,760
純資産合計	1,074,048	1,074,861
負債純資産合計	5,073,024	4,756,436

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,200,044	1,917,874
売上原価	2,083,986	1,820,941
売上総利益	116,058	96,933
販売費及び一般管理費	121,717	135,053
営業損失(△)	△5,659	△38,120
営業外収益		
受取利息	530	366
受取配当金	3,312	3,312
受取賃貸料	3,000	3,450
その他	116	16
営業外収益合計	6,959	7,145
営業外費用		
支払利息	12,277	9,787
賃貸収入原価	2,944	2,969
その他	520	1,068
営業外費用合計	15,742	13,825
経常損失(△)	△14,443	△44,800
税引前四半期純損失(△)	△14,443	△44,800
法人税、住民税及び事業税	250	200
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	250	200
四半期純損失(△)	△14,693	△45,000

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。